

## 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くお愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上の注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

## 本機の特長

- 電波時計（国内2局対応、自動選局機能付）  
福島県「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz)  
佐賀県と福岡県の境「はがね山標準電波送信所」(60kHz)
- 5段階で変化する電子音アラーム
- 一度止めて再び鳴り出すスヌーズアラーム
- 秒針停止機能

## 製品仕様

- 水晶発振周波数: 32,768Hz  
表示内容: 時・分・秒(3針)、アラーム時刻(1針)  
電波受信機能: 自動受信(7回/日\*)、手動受信  
\*午前2:01/午前3:01/午前6:01/  
午前10:01/午後2:01/午後6:01/  
午後10:01  
自動選局機能  
[受信電波=長波標準電波 JJY]  
周波数=40kHz/60kHz  
「時・分・秒」を受信  
精度: 電波受信による時刻修正が行なえない場合、月差±30秒以内  
アラーム機能: 電子音アラーム(報知時間=1分間)  
スヌーズアラーム/全7回  
アラーム精度=±5分以内、秒針停止機能  
その他: ライト付き  
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI  
使用温度: 0~40°C  
使用電池: 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2  
電池寿命: 約1年  
アラーム1分間/日、ライト5秒間/日、  
電波受信7回/日 使用した場合

カシオ計算機株式会社  
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2  
☎ 03-5334-4111 (代表)

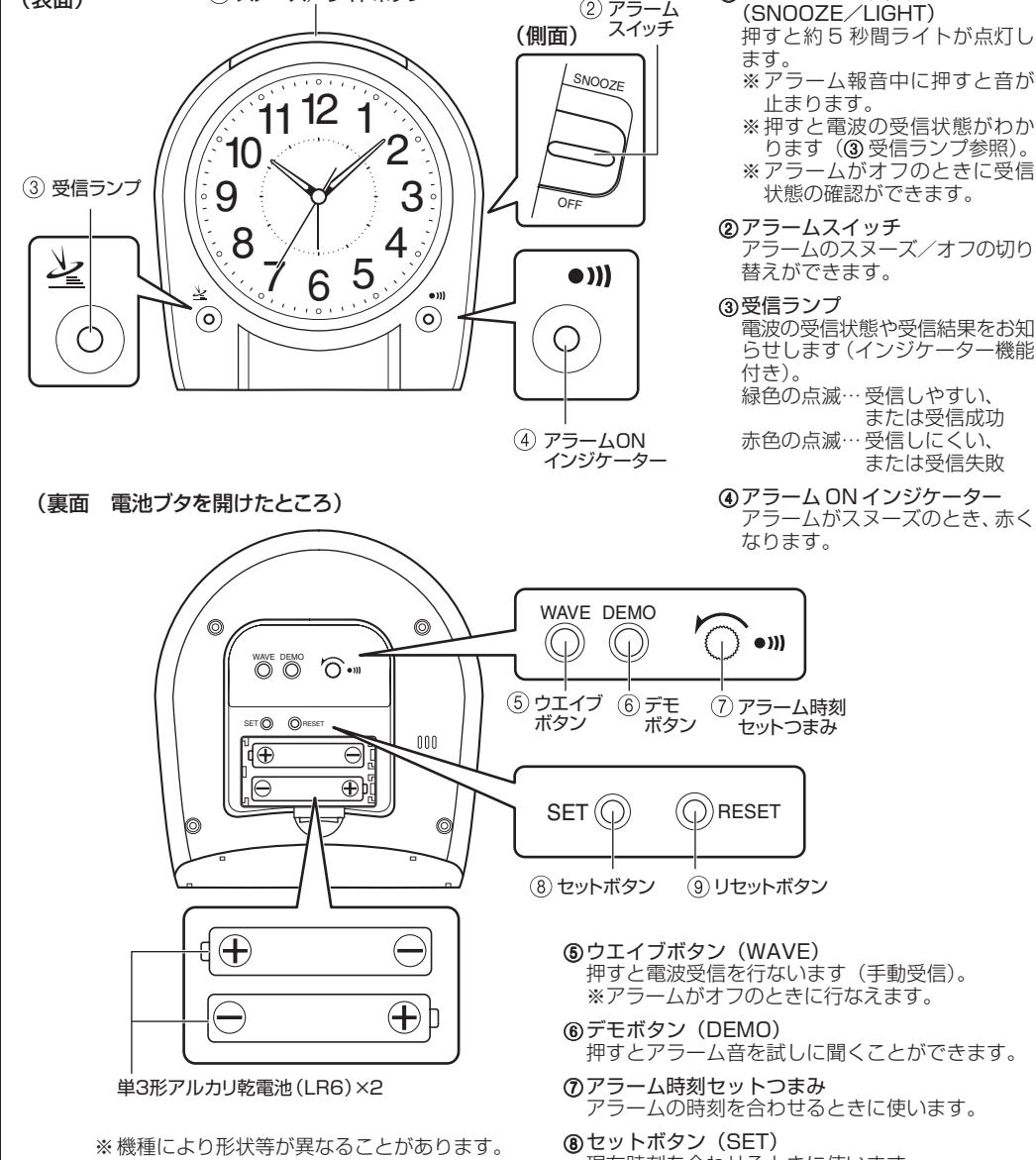
Printed in China MA0806-D

## ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさせてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になりますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことはお避けください。  
- テレビの上など(テレビ画面に色むらが起こる場合があります)  
- 時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、ブリペイドカード、カセットテープの近くなど

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## 各部の名称



## ●針の見方



## 安全上の注意

## 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

## 絵表示の例

- △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。
- 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。
- 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

## 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

## 袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

## 電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

## 注意

## 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

## 設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

- 電池について
- 電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - ・極性(+)と(-)の向きに注意して正しく入れてください。
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
  - ・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

## 電池について

- 電池は使うと液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となります。次のことは必ずお守りください。
- ・極性(+)と(-)の向きに注意して正しく入れてください。
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
  - ・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

## 電源について

- 本機は単3形アルカリ乾電池を2本使用します。
- 電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

## お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

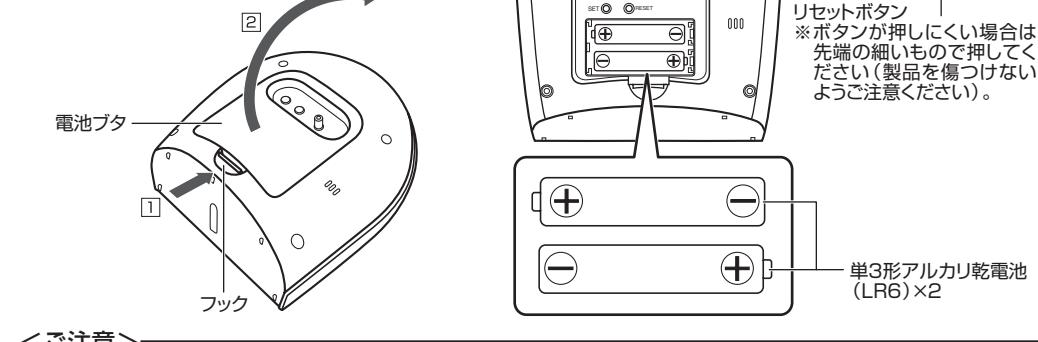
## ■ 電池交換のしかた(電池は全て交換してください)

- 電池プラを開け、古い電池を取り出します(「電池プラを開け方」参照)。
- 新しい電池の(+)(-)を間違えないように入れ、完全に押し込みます。
- 電池交換後、リセットボタンを押します。
- 電池プラを閉じます。

## ●電池プラの開け方

電池プラを開けるときは下記のように開けてください。

- 電池プラに指をかける(フックを押す)。
- 本体を押さえながら電池プラを外側に開く(フックを押しながら開く)。



- <ご注意>
- 電池の(+)(-)の向きは正しく入れてください。
  - 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起ります。  
このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください(定期的な交換をおすすめします)。
  - 誤動作(時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど)することがあります。
  - 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
  - アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まつたり」します。
  - 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
  - お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることができます。
  - \*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
  - \*電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
  - \*電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

## 本機の使い方

本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。  
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

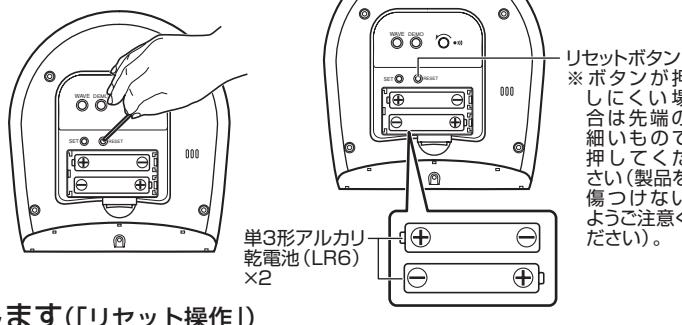
### 1 電池を入れます(「■電池交換のしかた」参照)

本機裏面の電池ブタを開き、 $\oplus$   $\ominus$  の向きに注意して、電池を正しく入れます。

→電池を入れると同時に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向け自動的に動き始めます。

※針は正転方向(進む方向)に進みます(逆方向には進みません)。

※電池を入れても針が動き出さないことがあります。この場合には、リセットボタンを押すと針が動き始めます。



### 2 リセットボタンを押します(「リセット操作」参照)

本機裏面のリセットボタンを押します。

→電池を入れた時と同様に時・分・秒針が「12:00 00」の位置に向け自動的に動き始めます。

※電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。

※リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

### 3 本機を使用したい場所に置きます

時・分・秒針が「12:00 00」の位置で停止すると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないます。窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。

※受信中は受信ランプで受信状態をお知らせします(インジケーター機能)。

#### 受信ランプのインジケーター機能

受信ランプの色(点滅表示)でお知らせします。

・受信しやすい場合…緑色の点滅

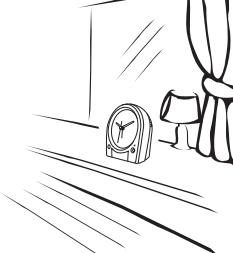
・受信しにくい場合…赤色の点滅

・インジケーター機能はアラームがオフのときに行なえます。

・受信しやすい場所でも緑色の点滅になるまで1秒程度かかります。

・天候、時間、環境等により電波の状態は変化します(赤色→緑色、緑色→赤色になることがあります)。

・受信ランプは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。



受信中は以下のように針が動作します。

・電池交換時及びリセットボタンを押した場合

→時・分・秒針は12:00 00で停止したまま受信を行ないます。

・自動受信中の場合

→時・分・秒針は運針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすくする為、多少ずらして運針します(1秒以内)。

・手動受信中の場合

→時・分・秒針は運針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすくする為、多少ずらして運針します(1秒以内)。

受信終了後、各針は通常運針を行ないます。

※1回の受信は約2~16分間です(リセット直後は、約4~16分間です)。

※受信中にボタン操作を行なうと受信を中断しますので、受信中はボタン操作を行なわないでください。

#### 受信成功

正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。

・針の時刻が1分前後進んでいた場合は、その間針は停止します。

・時刻修正が完了するまで、最大3分程度かかります。

・時刻の修正中は、手動受信は行なえません。

※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。



#### 受信できない

… 時刻修正は行ないません。

数分後に受信は止まります。

※このときは、本体の向きや置き場所を変えてウエイブボタンを押して、もう一度受信開始させてください。

※ウエイブボタンを押さなくても「2:01」になると再び自動受信を開始します。

電波受信は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01に行ないます。

● 手動受信

ウエイブボタンを押すと、電波受信が開始され、受信ランプが点滅します。

※手動受信はアラームがオフのときに行なえます。

※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられます。電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

※電波受信が全くできない場合でも、月差士30秒の精度で計時します。

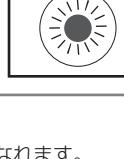
受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

### 4 1~2週間電波受信の様子を見ます

本機は午前2:01、午前3:01、午前6:01、午前10:01、午後2:01、午後6:01、午後10:01(計7回/日)に受信を行ないます。現在置いている場所の受信しやすさは、スヌーズ/ライトボタンを押して確認することができます。

※インジケーター機能はアラームがオフのときに行なえます。

スヌーズ/ライトボタンを押したとき、受信ランプが緑色で点滅することが多い



スヌーズ/ライトボタンを押したとき、受信ランプが赤色で点滅することが多い



電波受信しづらい

そのまま、その場所でお使いになります。

## 時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。

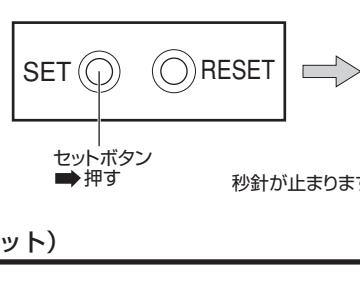
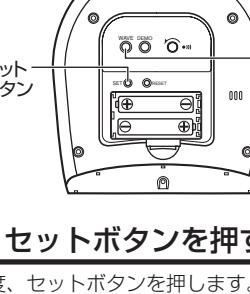
以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

### 1 セットボタンを押す(セット状態へ切り替える)

本機裏面の電池ブタを開きます。

秒針が12時の位置に来たとき、セットボタンを押します。

秒針が停止し、セット状態になります。



### 2 セットボタンを押す(時刻のセット)

再度、セットボタンを押します。

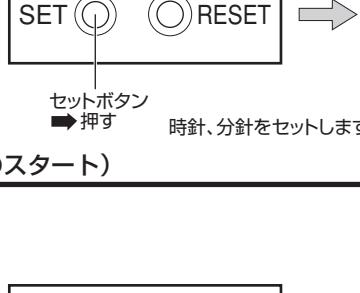
分針が動き、時刻をセットすることができます(時針は分針に連動して動きます)。

1 PUSH…1分進みます。

約2秒間押し続けます…分針の早送りを行ないます。

※時刻合わせは1分程度進めて合わせます(秒合わせが必要な為)。

※本機は午前/午後の区別はありません。



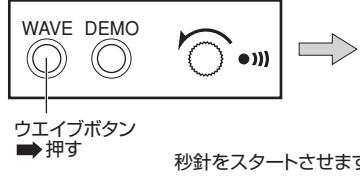
### 3 ウエイブボタンを押す(時刻のスタート)

テレビや電話サービス等の時刻に合わせ、ウエイブボタンを押します。

秒針が動き出し、セッタは終了します。

※セット状態で何も操作をしないと、約3分

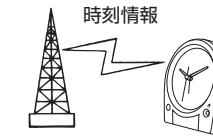
後に自動的にセット状態を解除します。



## 電波時計について

### ● 電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]のせた長波標準電波(JJJ)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



日本標準時:日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。

この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

### 受信ランプのインジケーター機能

※アラームがオフの時に、以下の確認が行なえます。

#### <受信中>

受信ランプの色(点滅表示)でお知らせします。

・緑色の点滅…受信しやすい

・赤色の点滅…受信しにくい

#### <受信終了後>

スヌーズ/ライトボタンを押すと受信の結果がわかります(3秒間)。

・緑色の点滅…1回以上受信に成功している

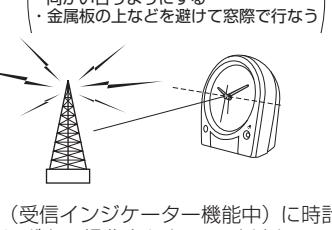
・赤色の点滅…1回も受信に成功していない

### <正しく受信するために>

○電波受信できる場所でお使いください(「●使用場所について」参照)。

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります)。

#### 最も受信しやすい設置のしかた



○受信中(受信インジケーター機能中)に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中にウェイブボタンを押すと、受信を中断します。

### <ご注意>

○セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間にウェイブボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

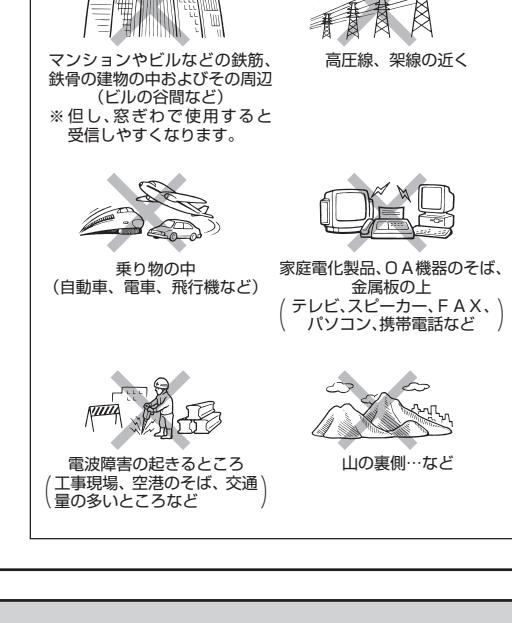
○電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

### ● 使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおおすすめします。

以下のような場所では、電波受信にくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



### ● 受信のしくみ

#### 送信所 長波標準電波

① 内蔵の「受信アンテナ」から電波を受信

② 受信した電波を時計内部で解説し、時刻情報を変える

③ 時刻情報もとにとづいて時刻修正

セシウム 原子時計

時計情報 時計内部

時計修正

時刻修正

時刻修正